

## 4 令和3年度 学校経営方針

### 1 本校の沿革

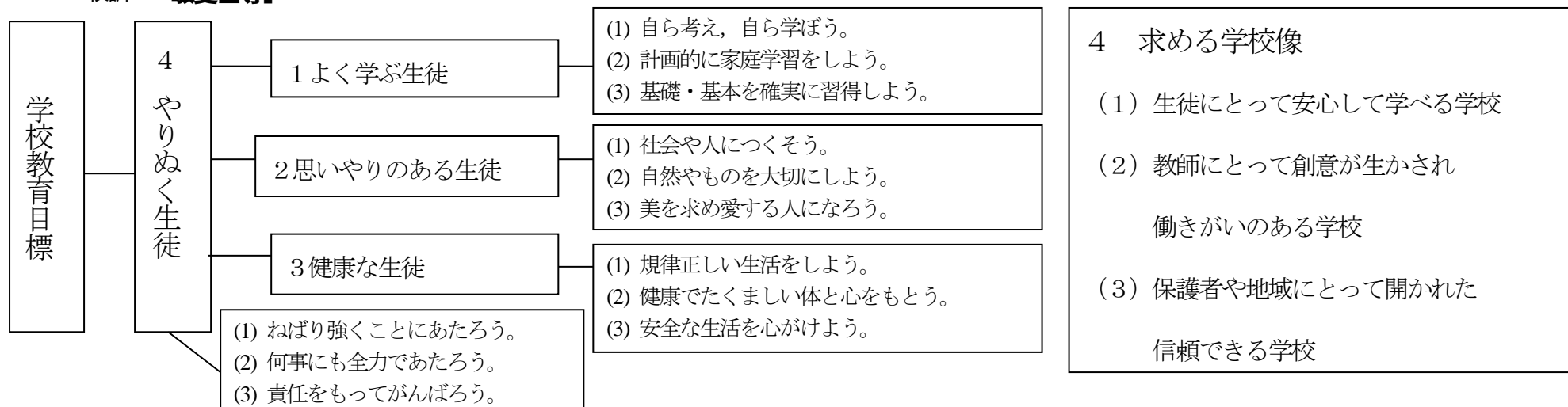
- ・ 葦崎中学校（昭和22年4月10日開校）の初代校長浅川耕三氏が昭和25年、校訓を『敬愛自尊』とする。
- ・ 『自尊の鐘』を葦崎中学校昭和26年3月卒業生（大村智博士を含む）が卒業記念品として寄贈する。
- ・ 昭和41年葦崎中学校と甘利中学校が統合し葦崎西中学校となる。
- ・ 昭和43年新校舎が完成し実質統合を機に新たに「校章」「校歌」を制定。
- ・ 校訓『敬愛自尊』と『自尊の鐘』が引き継がれ、以来、毎朝自尊の鐘を鳴らし黙想を続けている。
- ・ 平成18年8月に新校舎起工式。平成19年11月15日新校舎完成。平成20年1月より使用。新体育館・武道館・プールは平成20年11月15日完成。11月17日より使用。引き続き校庭等の外構工事。平成21年3月24日竣工式を挙げる。
- ・ 平成27年創立50周年を迎える。10月5日に大村智博士のノーベル賞医学生理学賞受賞が決定する。
- ・ 令和3年4月にギガスクールによる一人一台パソコンが支給され、ICT環境の充実が図られる。

### 2 『敬愛自尊』の精神を受け継ぎ伸ばす教育の推進

「人を敬い、いつくしみ、自らをたつとび、自らを高める人になろう」という、開校以来の精神を受け継ぎ、保護者、地域と一層の連携を図る中で、特色ある学校教育活動を推進していく。

### 3 学校教育目標

#### 校訓 「敬愛自尊」



### 5 学校経営の基本方針

#### (1) 知・徳・体の調和を重視し、「生きる力」をはぐくむ教育課程の編成と実施に努める。

- ① 学校教育目標の具現化と特色ある学校づくりに努める。
- ② 各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間や学年相互間の連携と調和を図り、創意工夫ある指導計画を作成する。
- ③ 環境教育、情報モラル教育、郷土学習等を学校教育活動の中に適切に位置づけ、その充実を図る。

- ④ 学校の教育活動全体を通して、体系的・系統的なキャリア教育の充実を図る。
- ⑤ インクルーシブ教育システムの構築を図り、生徒個々の教育的ニーズに基づく**特別支援教育の推進**に努める。
- (2) **生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、確かな学力をはぐくむ指導と評価に努める。**
  - ① 確かな学力の向上に向け、生徒の学力・学習状況を把握し、教師一人一人の創意ある取組や学校全体としての組織的・計画的な取組の推進を図る。
  - ② 「見通し、振り返る」指導方法の工夫に努め、個の見取りに基づいた個別指導と家庭学習とも連携して基礎的・基本的な内容が確実に身につくようにする。
  - ③ 体験的な学習と言語活動を重視し、ICTも活用する中で「主体的・対話的で深い学び」を通して思考力・判断力・表現力等をはぐくむ。
  - ④ 生徒の可能性を見だし**学習意欲を喚起する評価**に努める。
- (3) **集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を育成し、人間としての生き方についての自覚を深め、よりよく生きようとする態度を育成する生徒指導に努める。**
  - ① 共感的理解に基づく厳しくも温かい生徒指導に努め、また望ましい集団活動を通して心の触れ合いを深めさせることで心の居場所づくりをし、いじめや不登校のない楽しい学校生活の実現をめざす。
  - ② 人間としての生き方についての自覚を深め、**考え議論する道徳の授業を実践し**、人間としてよりよい生き方を求める**道徳的心情**を育成する。
  - ③ 読書活動や文化芸術活動、豊かな体験活動を通して、**豊かな感性や豊かな心**を育てる。
  - ④ 学校、家庭、地域社会との連携を深め、**しなやかな心の育成**を図り、**自他を敬愛する心や健全な生活態度**を育てる。
- (4) **体育・スポーツ及び健康・安全に関する基礎・基本となる資質や能力の育成に努める。**
  - ① 体育・スポーツを積極的に推進し、運動に親しみ**進んで運動を実践する能力や態度**を育て、体力の向上を図る。
  - ② 身近な健康・安全及び食に関する理解を通して、**生涯にわたって健康で安全な生活を送るための実践力**を育てる。
- (5) **安全・安心を基盤とし、家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進に努める。**
  - ① 学校安全計画及び防災・防犯等の危機管理マニュアルの改善・充実と、それに基づく安全管理体制の充実<sup>①</sup>に努める。
  - ② 日頃から**防災や安全に対する意識の向上**を図り、実践的な避難訓練等の実施に努める。
  - ③ 学校ブログ・学校だより等の効果的な活用をはかる中で、**地域や保護者に積極的な情報発信**を行い、学校への理解を深める。
  - ④ 家庭や地域社会との**積極的な交流、協力体制**の促進に努める。
  - ⑤ **感染症対策を継続しながら指導し**、生徒自らが**考え行動**できるような指導や取組を生徒会を中心に進める。
- (6) **研修活動の積極的推進を図る。**
  - ① 教師自らが人間的に成長し専門性を高め、日常の教育活動の**充実と改善**に努める。
  - ② **協働による共通理解と研究の深化・発展**のために、授業研究を積極的に推進し、学びのある授業の創造に努める。

## 6 本年度の重点目標

- (1) **自治的で望ましい集団の育成**を通して、諸活動の活性化を図り、異学年交流による**伝統の継承**に努め、**生徒の学力・体力・気力の充実**を図る。
- (2) **見通す振り返る授業**に努め、互いに学び合う**対話的・協働的な学習**を通して、**確かな学力をはぐくむ指導と評価**に努める。
- (3) 個の見取りとつまずきを通して**個別指導の充実**に努め**家庭と連携して学習習慣を確立し**、**基礎学力の向上と定着**に努める。
- (4) 文化芸術活動、読書活動、体験活動を通して、**美を求め、愛する事のできる豊かな感性と情操**を育てる。
- (5) **考え議論する道徳の授業をICT環境を活用しながら推進し**、**しなやかな心と道徳的心情の育成**に努める。
- (6) 生徒の**心身の健康維持と体力向上**、**食や感染症等、安全に対する意識の向上**に努め、実践力を高める。
- (7) 負担のない形で**地域の教育資源（人材、自然、歴史文化、施設、産業等）**を活用した教育活動を工夫する。
- (8) **特別支援教育**に対する理解を深め、一人一人の特性に応じた支援に努めるとともに、**伝わる生徒指導をもとに根気よく関わる不登校生徒指導**に努める。
- (9) 日常の**防災意識の向上**や**危機管理に対する意識**を高め、登下校や教育活動における**安全を確保**する。
- (10) 韮崎西中の生徒であるという自覚を持たせ、校訓の意味する**自他を敬愛する心**を育む。